

# コンピュータと私 (あまりにチンプすぎますかね)

=== ふちんかん ===

## 中学生の時・コンピュータというものを初めて知った

私が中学生の時。今から18年くらい前。中1コース(か中2コース)という雑誌の巻頭を、「これからはマイコンの時代だ。」てなコピーとともに、SHARPのMZ-80が飾っていました。手のひら程度のグリーンモニタとカセットデッキがついたオールインワンで30万円くらいだったかな。当時としては画期的な安さだったんでしょう。しかし中学生の買える値段ではなかったけどね。

しかし当時の友人が、そのMZを持っていてね。BASICの入門書を買った私は、友人にプログラムを入力してもらい、ゲームをした記憶が。「四人のジレンマ」とか「数当てゲーム」とか、今となってはゲームとは呼べんようなものでしたが、当時は自分たちで入力したプログラム通りに動くということ自体がすごい、という時代でしたからね。

## 高校生の時・身近にプログラムというものを組む人がいた

高校時代、てつけんのみなさんと学校帰りに電気屋さんへ行くと、SさんやNさんが、デモ用のマイコンを使ってプログラムを打っていたような。富士通のFM-8とか、NECのPC-6601とか、日立のぴゅうた(だったっけ)とか、ありましたね。

またM君が、ポケコンで迷路のプログラムを作っていたような記憶が。それを横から茶々いれてたような記憶も。

Nさんが勉強のじゃまになるからとapple IIを我が家に置いていったことがありました。これを使って私自身初のプログラムとなる「霧の摩周湖プログラム」を作成。画面上に書かれた湖の絵が白いブロックで消されていくというだけのプログラムなんですけどね。

## 大学生の時・コンピュータを買った

はじめて手に入れたコンピュータは、SHARPのポケコンでした。今でも職場で使っています。はじめて作ったプログラムは「野球ゲーム」。Sさんが変数の扱いなどいろいろ教えてくれました。

初のパソコンはNECのPC-9801VM2。一太郎ver.1、ドットプリンタ、14インチモニタとあわせて60万円。すごい買い物でした。元を取るべくひたすらBASICでプログラミング。当時はアプリケーションソフトもちらほらで、まだまだ、『コンピュータをいじる=プログラムを組む』という世界でした。大学の卒論も、理論・実験もせずただただプログラムを作っただけで済ませてしまいました。BASICをちょっとかじっただけでもヒーローという時代だったので。教育大だけかもしれんけどね。

さいきん・コンピュータ関連でドキドキすることが少なくなったね。

なんなんでしょうね。